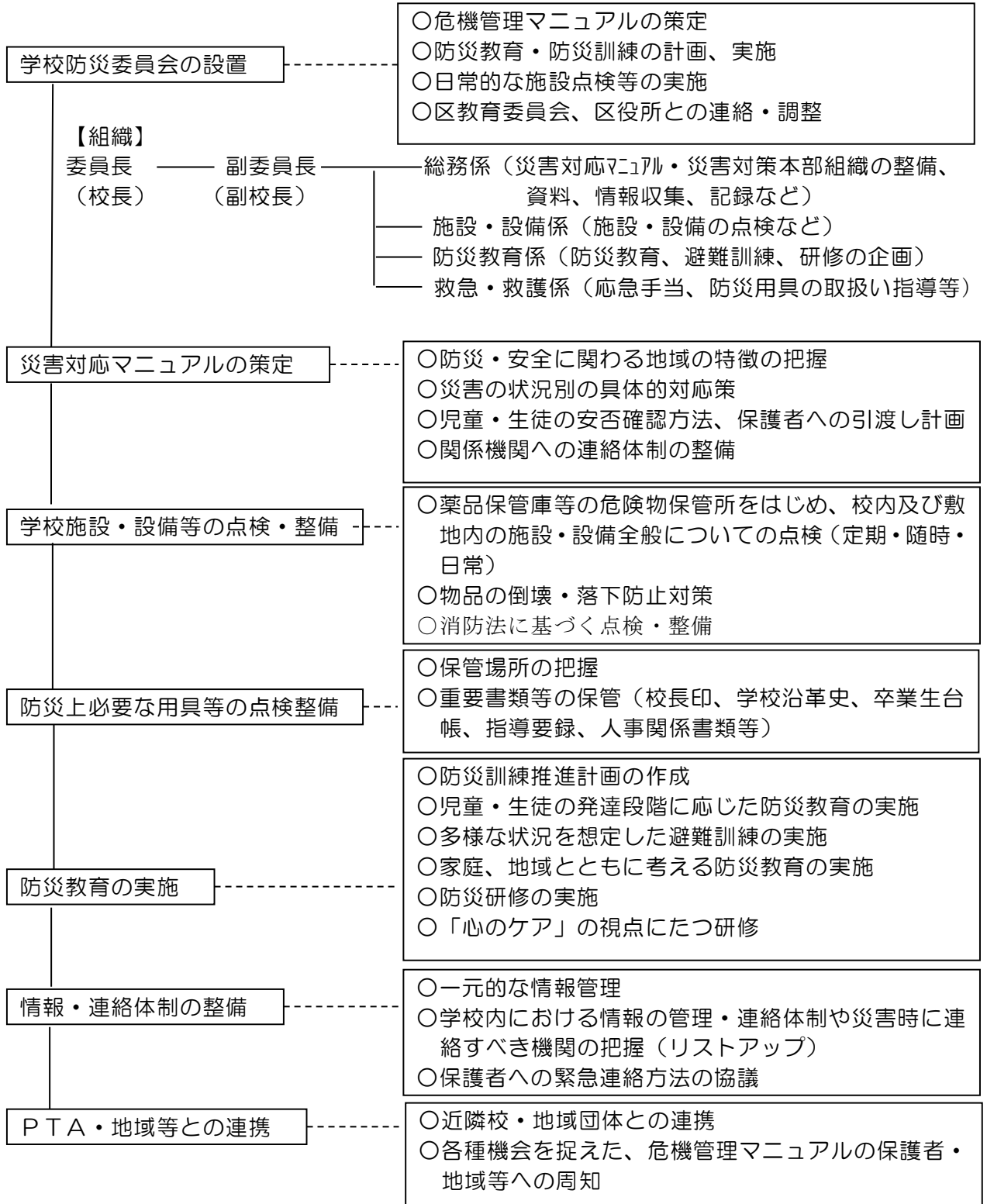


緊急時対応マニュアル

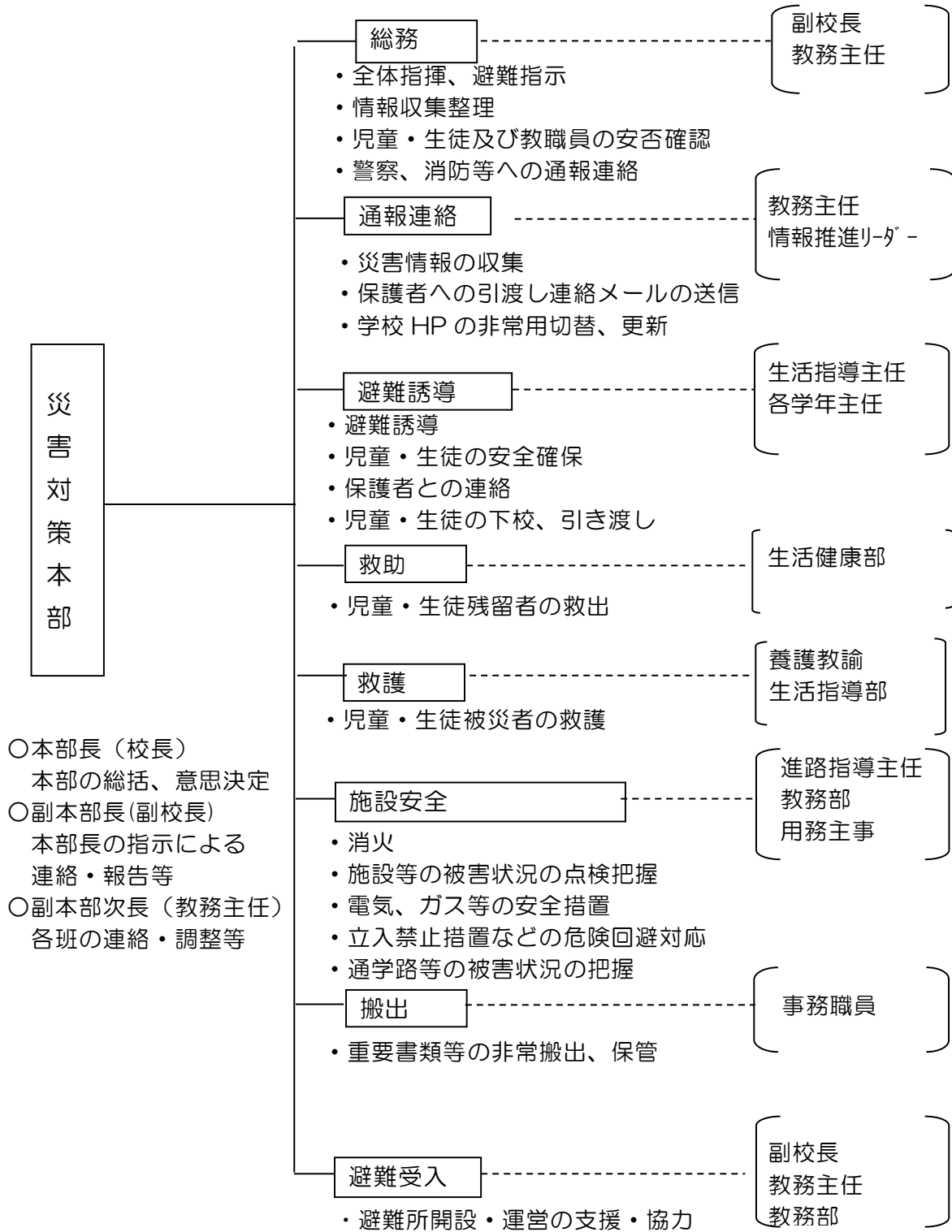
令和7年度

江戸川区立清新第二中学校

日常的な学校防災活動



学校災害対策本部組織



- 本部長（校長）
本部の総括、意思決定
- 副本部長（副校長）
本部長の指示による
連絡・報告等
- 副本部次長（教務主任）
各班の連絡・調整等

1. 緊急時の体制

「生活指導の手引 抜粋」

2. 健康管理等

「長期休業中のしおり 抜粋」

3. 年間防災計画（安全指導・避難訓練）
防火担当箇所（安全点検箇所）

「消防計画・防災計画 抜粋」

4. 儀式等での緊急避難・対応
（今年度の入学式）

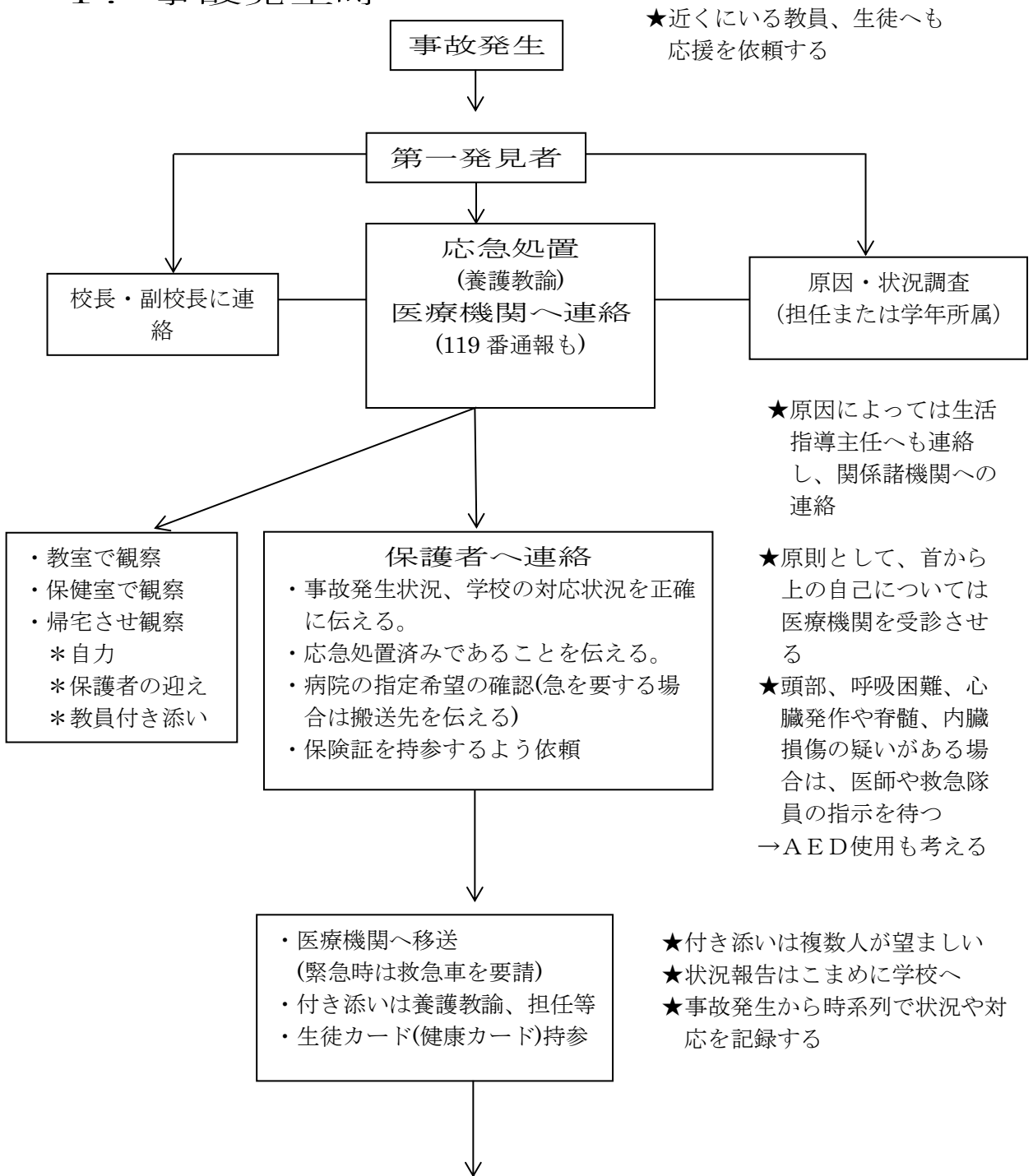
5. 参考資料

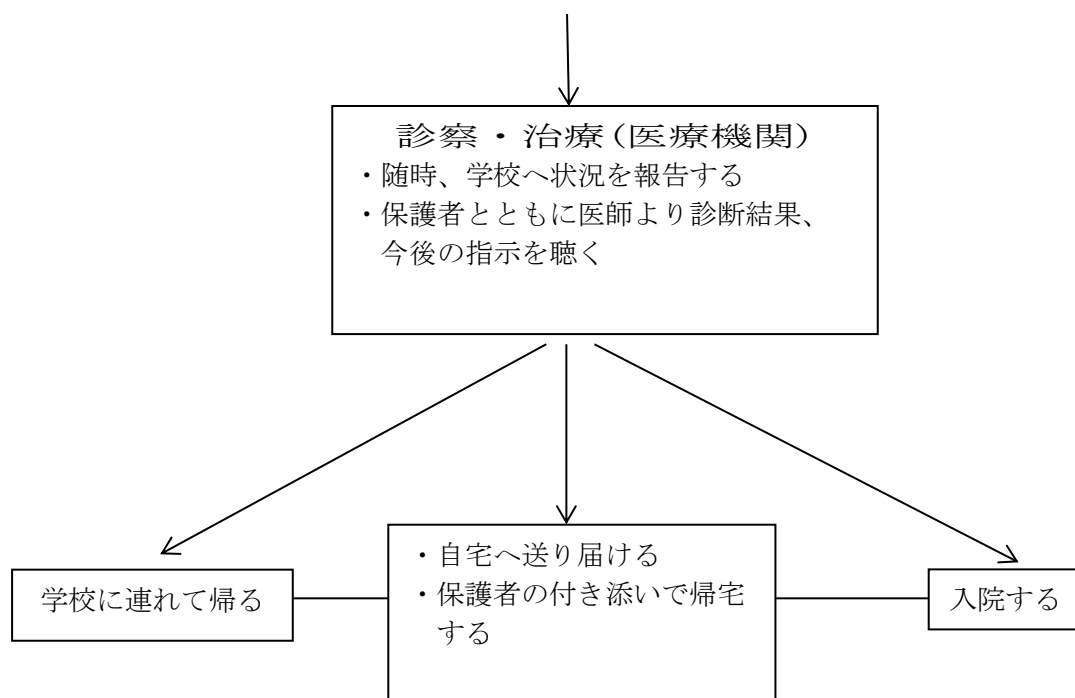
①災害時引き渡しカード

②災害時緊急対処用具一覧

1 緊急時の体制

1. 事故発生時





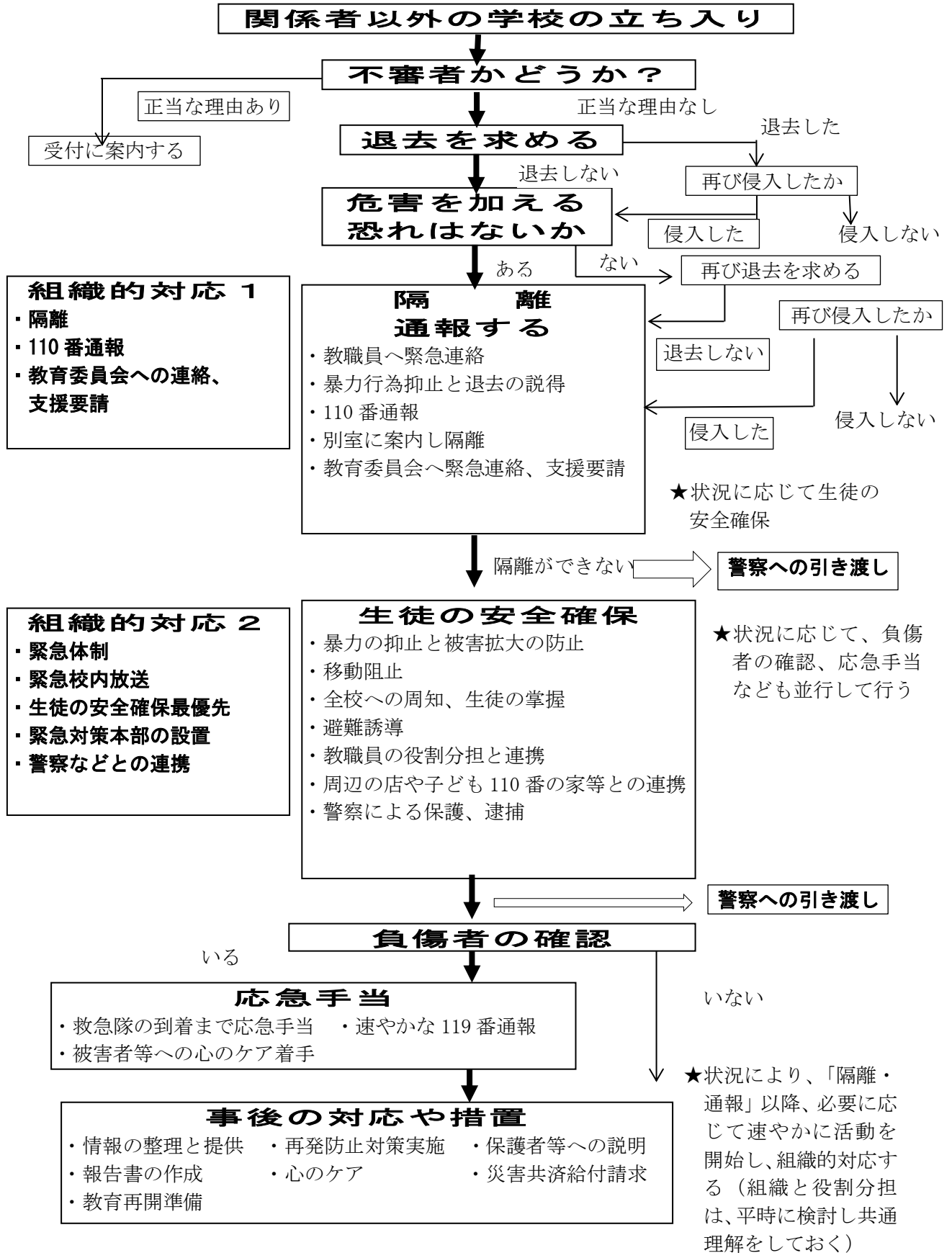
★学校保健センターを使用するかどうか保護者へ確認

【報告】
 (養護教諭、担任等より)
 ・ 帰校後、校長・副校長へ報告
 ・ 帰校後、関係した教職員へ報告
 ・ 翌日、全教職員へ報告

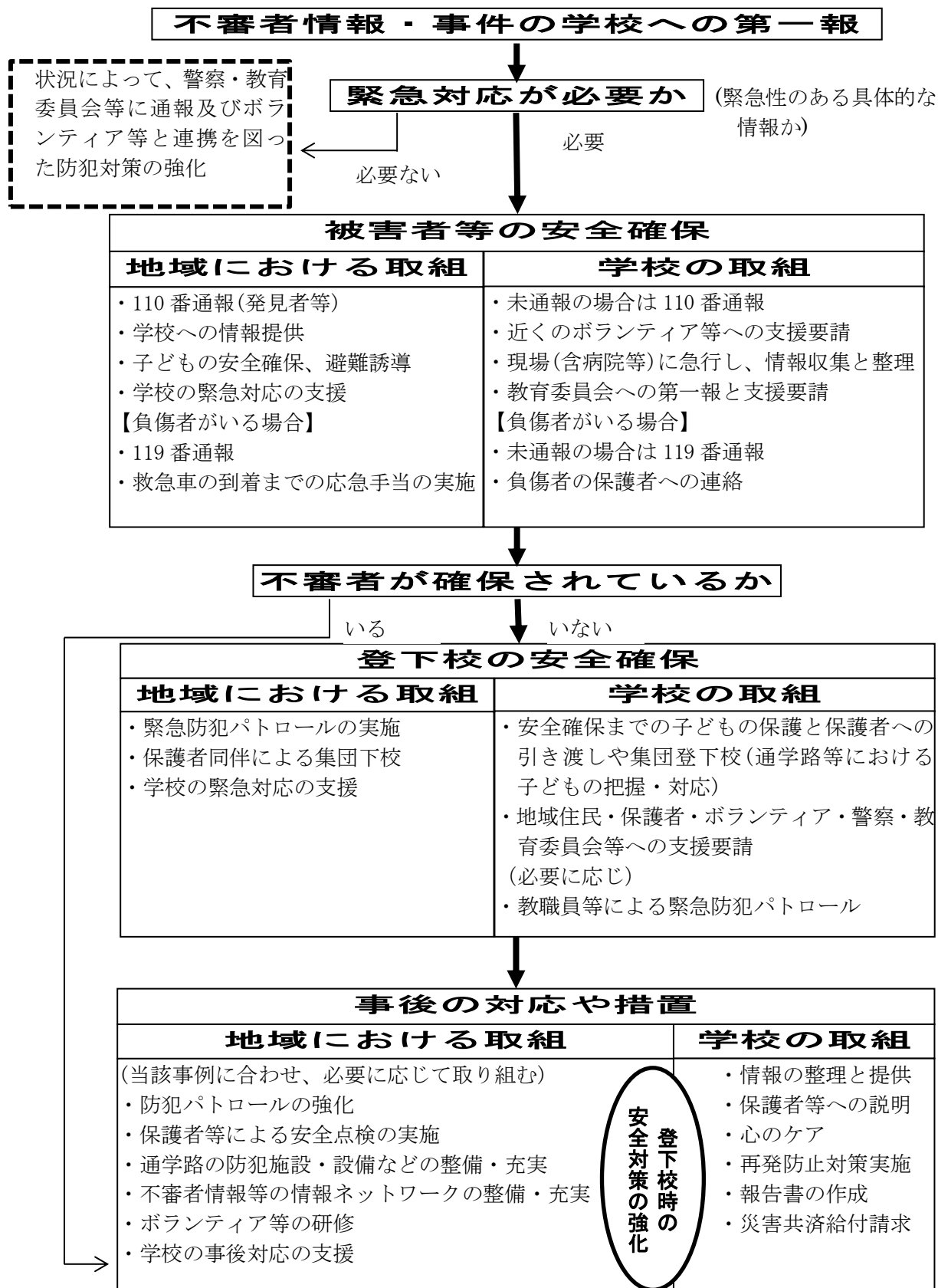
※生徒の事後の経過を引き続き観察していく (担任、養護教諭、他)

- ① 事故の原因、発生後の措置等についての問題点を明確にし、事故の再発予防と安全管理・安全の徹底を図る。
- ② 事故に対する外部からの問い合わせ、取材等に対しての窓口は校長・副校長のみとする。(窓口の一本化)
- ③ 保護者に対して日本スポーツ振興センターによる給付金について十分に説明し、養護教諭が必要な手続きを行う。
- ④ 必要に応じて、保護者・地域へも事実を伝え説明する。

2. 不審者侵入時



3. 登下校時



※地域とは「地域住民・保護者・ボランティア等」を示す

4. 地震発生時

(1) 現状及びリスクの把握

本校は、江戸川区の南西に位置している。周囲よりは高く盛られた埋立地に建設され、周囲は集合住宅に囲まれている。発災時、液状化による建物の倒壊や火事（延焼）、付近の荒川の氾濫等が想定される。他の地域より一段高い位置にあることから、避難所開設の際は、他の地域や江東区から多くの避難者が来校することが予想される。

学校の現状（令和7年4月7日現在）

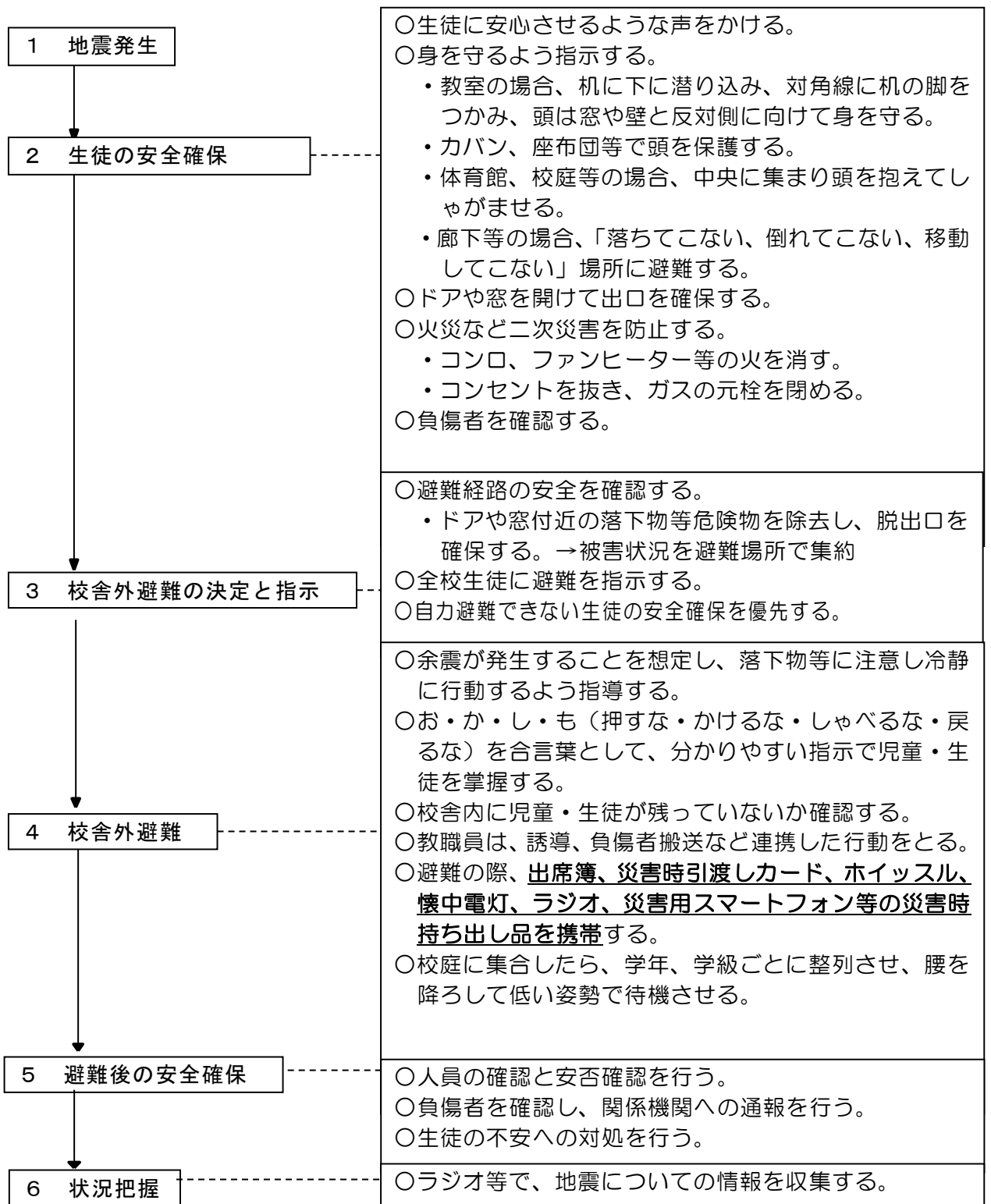
児童・生徒数		教職員数
全校児童・生徒 名		
第1学年	名	
第2学年	91名	33名
第3学年	62名	

校舎	昭和 62 年建設
○登校時刻	午前 8 時 10 分～ 8 時 25 分
○下校時刻	午後 15 時 50 分～ 16 時 10 分
○昇降口	正面昇降口：1～3年生
○登下校時の環境	・北側正門から登下校 ・東門は緊急時のみ使用

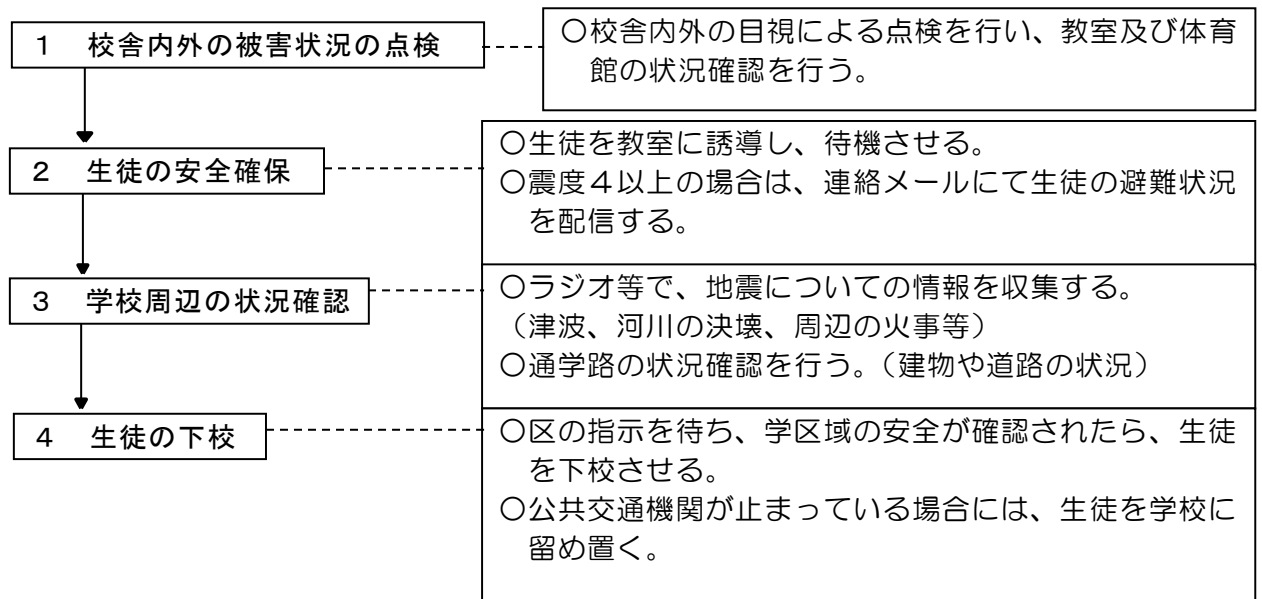
学校の立地環境

- 学校の立地
 - ・海拔 3.6 m（江戸川区ハザードマップにより津波浸水区域）
 - ・交通 校舎の北側に都営バスの停留所あり
校舎の北側徒歩18分のところに東西線西葛西駅
 - ・公園等 校舎から北と東20m先に公園がある
- 自然的環境
 - ・校舎の南2kmに東京湾が広がっている
 - ・校舎の西側すぐに荒川が流れている
- 社会的環境
 - ・学区全体的に集合住宅が立ち並ぶ
 - ・学区の南側は校舎の南側に江戸川陸上競技場がある

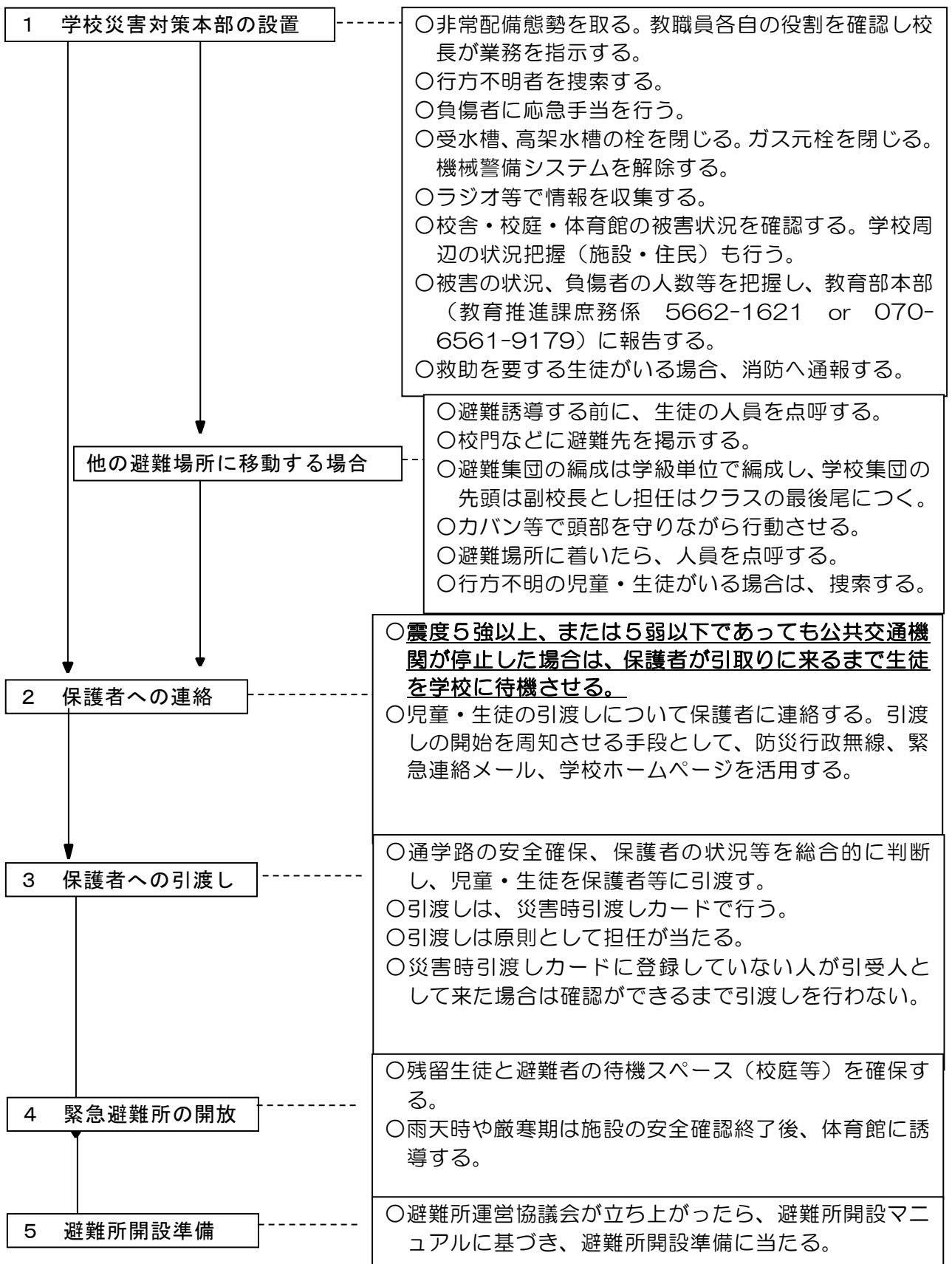
(2) 教職員在校時に発災した場合の対応



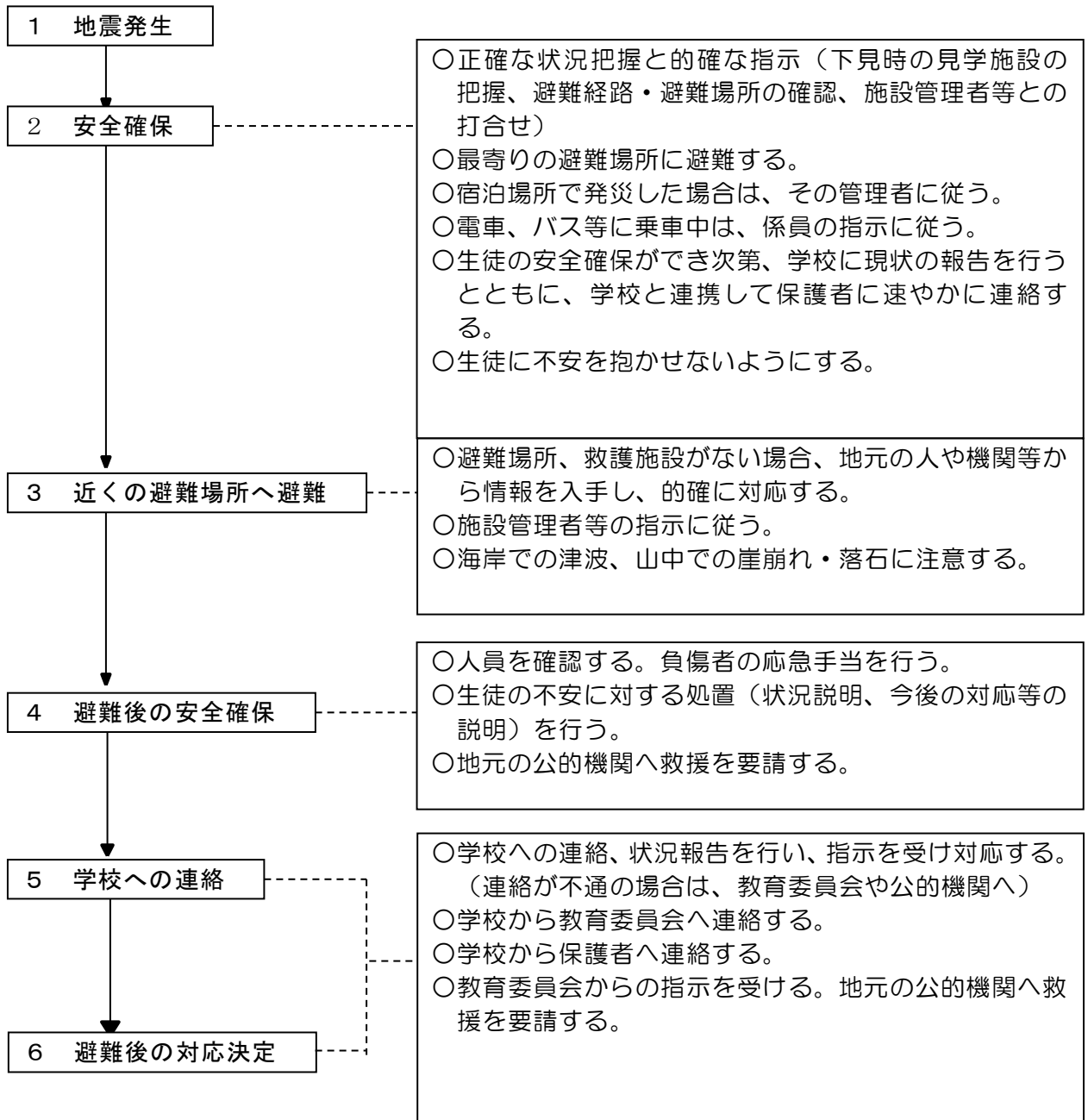
ア：震度5弱（「不安定なものが倒れることがある」程度）以下の場合



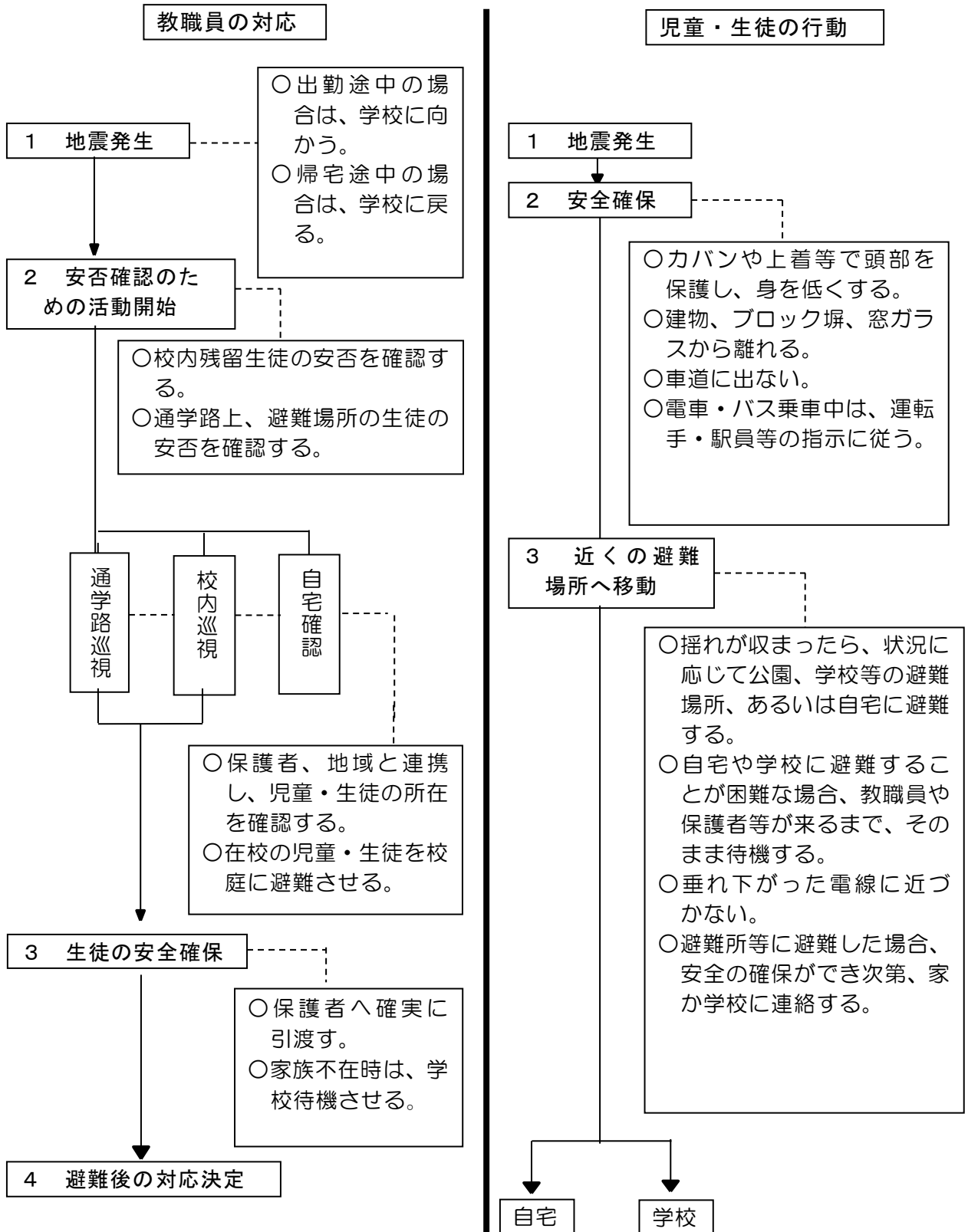
イ:震度5強（「固定していない家具が倒れることがある」程度）以上の場合



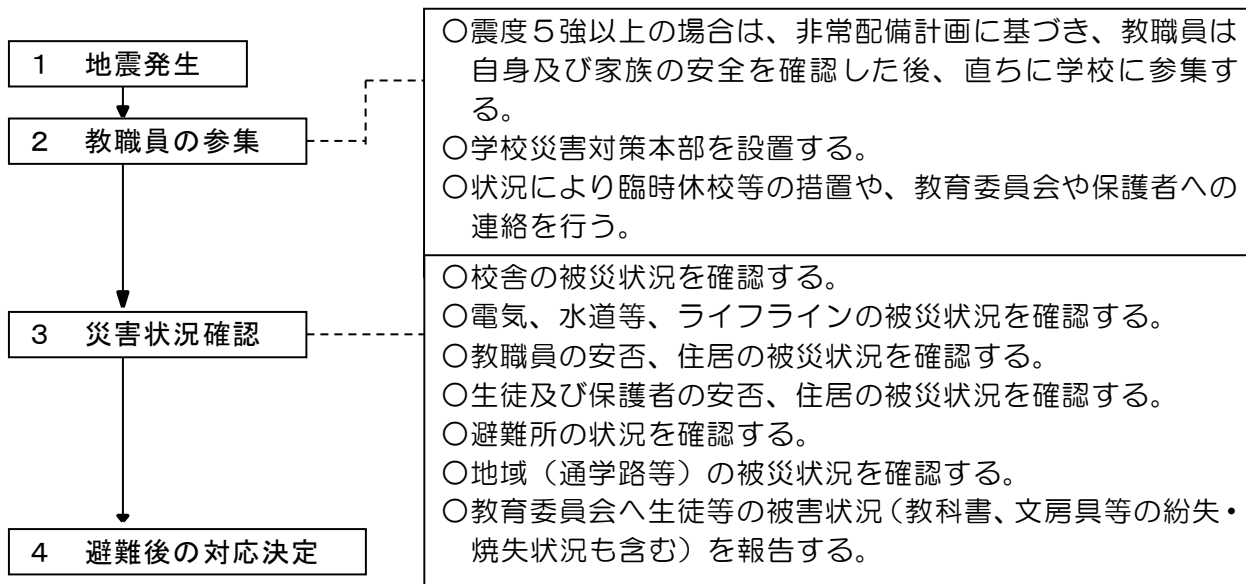
(3) 校外活動中に発災した場合の対応



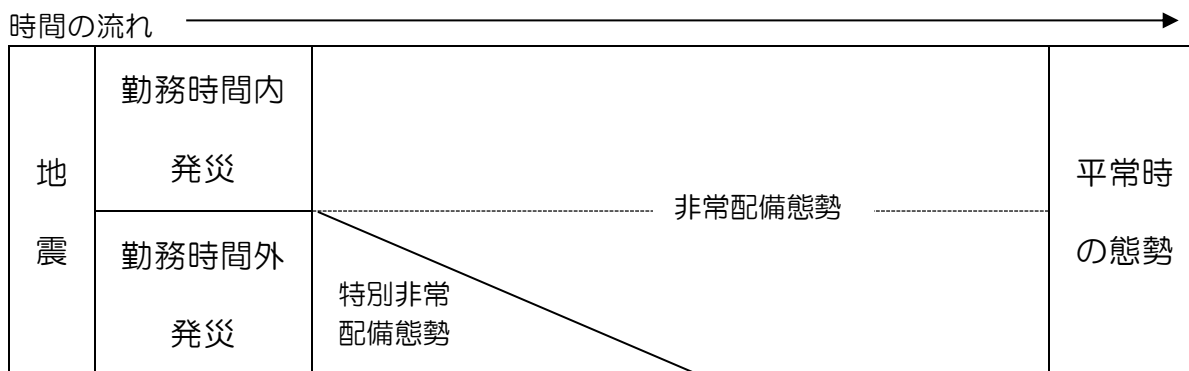
(4) 登下校時に発災した場合の対応



(5) 教職員在校時外の対応



(6) 学校教職員非常配備計画



震度5強以上で、災害対策本部を設置する。以下のような非常配備態勢を取る。

◎ 非常配備態勢(勤務時間内) … 通常業務を縮小(停止)し、応急業務体制に移行

[1] 生徒・職員の安否確認及び保護者への引渡し

- ① 在校する生徒の安全確保
- ② 外出している生徒の安全確保
- ③ 教職員の安全確保
- ④ 保護者への引渡し連絡

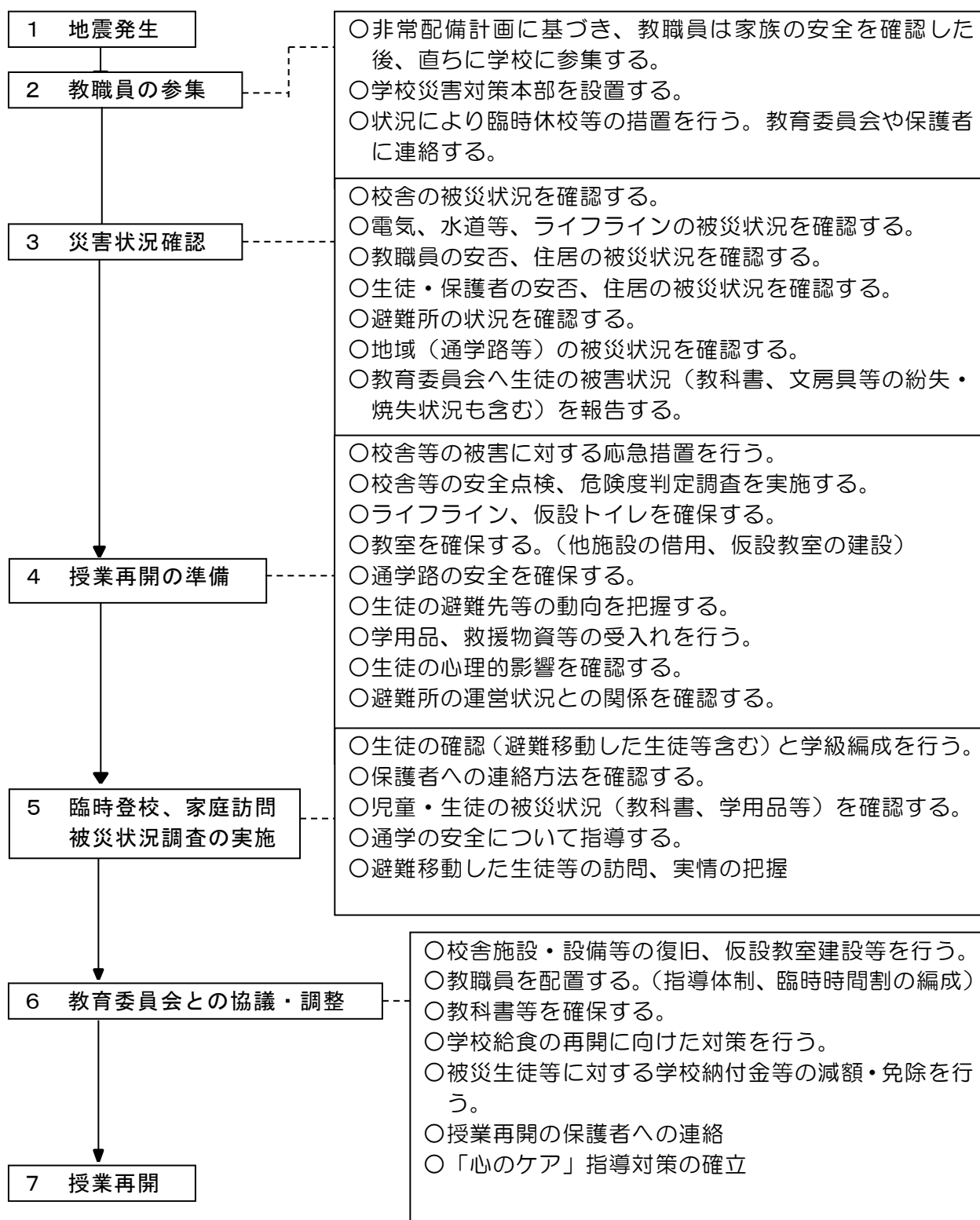
[2] 被害状況の確認

- ① 受水槽及び高架水槽のバルブを閉栓
- ② 建物および施設周辺の状況確認
- ③ ガス、電気等ライフラインの状況確認

◎ 特別非常配備態勢時は、自主参集し、避難所の設置及び運営に協力

* 避難所開設・運営については、災害対応マニュアル（避難所開設）参照

(7) 授業再開に向けた対応マニュアル



(10) 警戒宣言発令時の対応

1 注意情報発令時の対応

- (1) 教育委員会は、注意情報発令の連絡を受けたときは、小・中学校に連絡する。
- (2) 学校は、授業を学級活動に切り替え、生徒に注意情報が発令された旨を伝える。
- (3) 地震に対する注意事項、警戒宣言が発令された場合の対応措置を指導する。

2 警戒宣言が発せられた場合の措置

(1) 在校時

- ア 授業を打ち切り、警戒宣言が解除されるまで臨時休業とする。
- イ 生徒は校内で保護する。

(2) 校外活動時

- ア 宿泊を伴う校外活動時は、その地の災害対策本部の指示に従うとともに、速やかに学校に連絡する。
- イ 校長は、情報を保護者に連絡する。
- ウ 学校の対応状況を区教育委員会に報告する。
- エ 日帰りの遠足等の場合は、その地の警察、消防等官公署と連絡を取り、状況に応じて即時帰校等の措置をとる。
- オ 交通機関の運行や道路状況によって帰校することが危険と判断された場合は、近くの小学校、中学校に避難するなど適宜必要な措置をとる。
- カ 校外活動が強化地域内の場合は、その地の区市町村と連絡をとり、その地の警戒本部の指示に従う。

(3) 登下校時に警戒宣言が発せられた場合

- ア 登下校時に警戒宣言が発せられた場合、生徒は学校や家庭までかかる時間などを考慮し、適切に避難する。
 - ※ 特に教職員の目が届きにくい登下校時においては、生徒一人一人が最も安全と考えられる対応ができるよう、日頃から柔軟に対応することの重要性を指導しておく。

(4) その他の対策

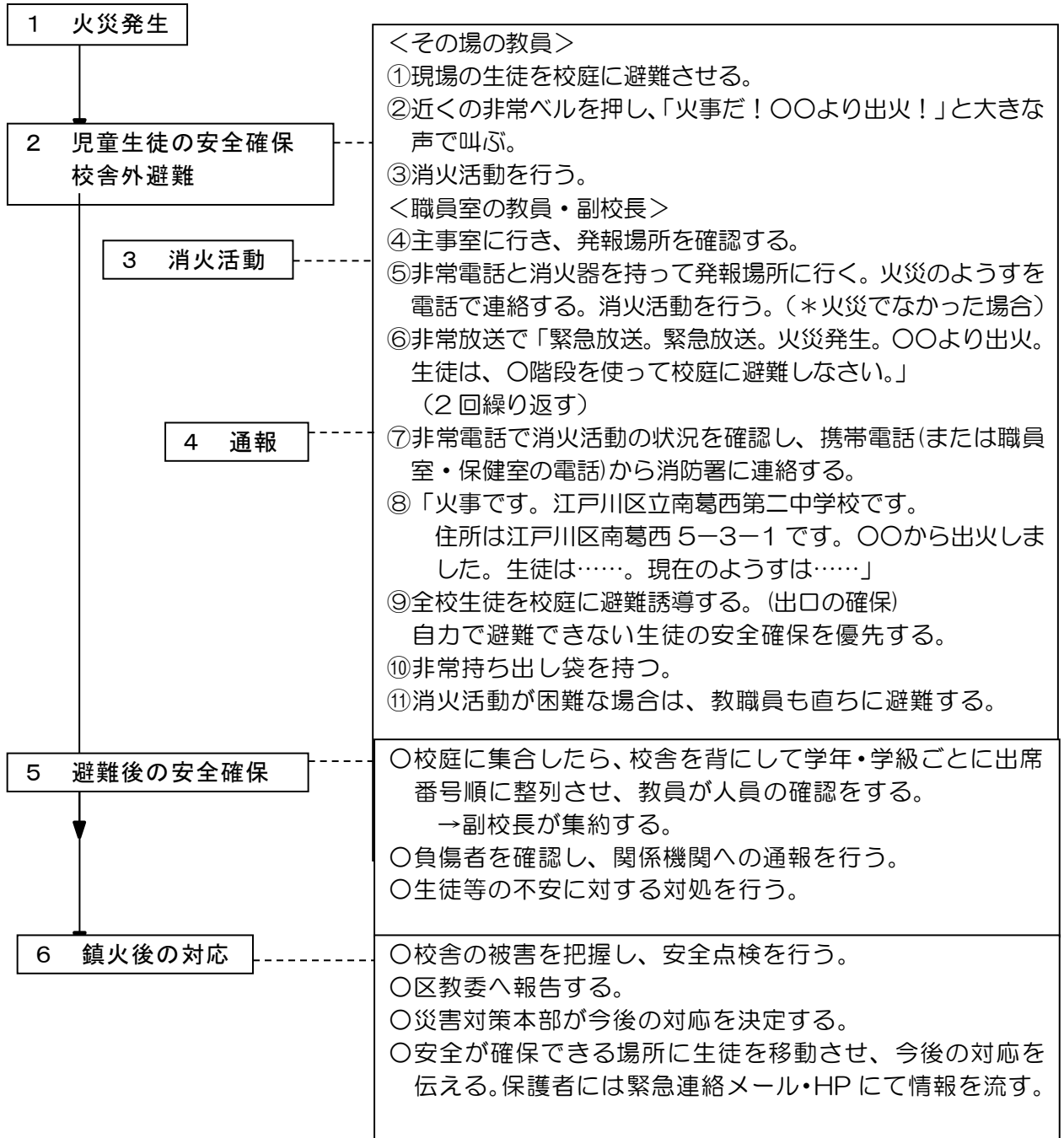
- ア 飲料水、食糧、毛布等を生徒のために準備する。
- イ 生徒に対して、今後の対応を指示、説明する。
- ウ 保護した生徒の人数、保護体制について、教育委員会に報告する。

(5) 警戒解除宣言の情報収集

- 学校は警戒解除宣言の情報を、区災害対策本部、ラジオ、テレビ等から入手する。

5 火災発生時

火災発生時の基本的対応要領



*火災でなかった場合

非常ベルが間違っって押された場合には、主事室の警報盤横のマニュアルにより復旧作業を行う。

◎ 留意事項

〇. 平常時

- (1) 出席簿の表紙の裏に、在籍数を記入した「確認票」を常備しておく。
- (2) 毎日、職員室前の「生徒出欠表」に始業時の出欠状況や、遅刻・早退の状況を記入しておく。

■授業中(教員が指導している時)… 教員は生徒に適切な指示を与え、避難させる。

1. 避難前

- (1) 緊急放送を良く聞く。出火場所を聞き取り、避難経路を判断する。
- (2) 「窓をしめ、カーテンを束ねる(開ける)。扉をしめ、電気を消す。」ことを指示する。
- (3) 生徒を廊下に出し、2列に並ばせる。

2. 避難中

- (1) ハンカチを口に当て、姿勢を低くし、「お(おさない)、か(かけない)、し(しゃべらない)、も(もどらない)」を守らせて移動させる。
- (2) 階段を降りるときは、上の階のクラスが内側、下の階のクラスが外側を歩く。
(待たせない)
- (3) 最後のクラスが避難したら、担当者が防火扉を閉める。

3. 人員確認

- (1) 校舎を背にして(火を見せない)、クラスごとに出席番号順に並ばせる。
* 少人数指導の場合もクラスごとに並ばせる。
- (2) 担任(または教科担任)が、生徒の肩を叩いて点呼を行い、その場にしゃがませる。
- (3) 担任(または教科担任)は、確認票に不在生徒の数と名前を書いて副校長に報告する。
「〇年〇組、在籍〇名、欠席〇名、現員〇名、異常なし・あり(〇〇が不明)」
* 「欠席」とは、その時点での不在生徒のこと。(欠席・早退・遅刻・公欠を含む)
<避難完了>
- (4) 担任がクラスにつく。

■休み時間等(教員が指導していない時)… 生徒は自主的に判断して、避難を行う。

1. 避難前

- (1) 緊急放送を良く聞く。出火場所を聞き取り、避難経路を判断する。
- (2) 近くの窓をしめ、カーテンを束ねる(開ける)。扉をしめ、電気を消す。

緊急性を感じたら迷わず、即 119 !

2. 避難中

- (1) ハンカチを口に当て、姿勢を低くし、「お（おさない）、か（かけない）、し（しゃべらない）、も（もどらない）」を守って、安全な避難経路を通過して移動する。

3. 人員確認

- (1) 校舎を背にして、クラスごとに出席番号順に並ぶ。
(2) 教員の指示に従って、待機する。

2 健康管理等

A 光化学スモッグ対策

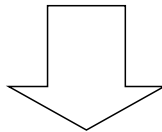
- (1) 予報・学校情報・注意報・警報が発令されたときは、その旨を活動中の指導者に連絡する。
- ① 予報…屋外の部活動指導者に連絡し、生徒の健康観察を行わせる。
 - ② 学校情報…努めて屋外での活動を取り止め、生徒を校舎内に退避させる。
 - ③ 注意報…努めて屋外での活動を取り止め、生徒を校舎内に退避させる。
 - ④ 警報…屋外活動を取り止め、生徒を校舎内に退避させるとともに、体育館内でも過激な運動を避ける。
- (2) 予報・学校情報が出ていなくとも、目がチカチカするなどの異常が認められたら、生徒の健康観察を注意深く行うとともに、適切な処置を取るよう指導者に連絡する。

B 熱中症対策

- (1) 指導者は常に気象状況に気を配る。
- ① 普通教室では冷房を使用し、室温の上昇を抑える。
 - ② 体育館では温度・湿度を確認し、高温多湿時には休憩・給水を心がける。
 - ③ 校庭では温度計が31℃を超えたら、極力活動を控える。活動させる場合、休憩・給水をこまめにとらせる。

C 落雷・雷雨対策

- (1) 指導者は天候の急変などの場合は、適切な措置を講ずる。
- ① 警報が出た時の急な気象の変化に注意し、室内に避難させる。
 - ② 気象が変わる前に下校させる。



健康被害発生時

- ① 校長・副校長に報告をし、指示を受ける。
- ② 被害状況の記録（発生日時、場所、症状、状況、環境、処置など）を取る。

事故発生時の処置について

事故発生に関しては、管理職に連絡し指示を得ること。管理職不在の場合は、必ず複数職員で対応することを心がけ、時間経過に沿った詳細な記録メモを取るようにする。場合によっては、管理職の指示により教育委員会（指導室）、外部機関との連絡を行う。

【事故対応の内容】

- ア、火災の場合：状況によって応急消火。生徒の完全退避。消防への連絡。
重要書類（生徒指導資料）の搬出・安全確保。
- イ、けが、病気：校医（田島クリニック3687-1161）に連絡。
状況によって救急車の要請と家庭への連絡をする。
- ウ、その他の事故：職員、生徒等が伝染病に感染した場合、火災や風水害等で被害が発生した場合には、校長、副校長に連絡し、内容によって適切な措置をとる。

【緊急連絡先】

清新第二中学校 = 3877-6631 (fax 3877-6672)

校医（田島クリニック）= 3687-1161

東京臨海病院 = 5605-8811

清新外科クリニック = 3675-4707

森山記念病院 = 5679-1211

葛西循環器脳神経外科 = 5696-1611

片岡整形・形成外科 = 5667-1623

葛西眼科 = 3687-7710

西葛西耳鼻咽喉頭科 = 3686-8733

区教育委員会・指導室 = 5662-1634 (直通)

葛西警察署（少年係） = 3687-0110 (内線315)

江戸川消防署 = 3656-0119 (救急車の手配)

セコム（警備会社） = 3652-5360

令和7年度避難訓練年間計画

日 程／担 当	時 程	実施計画	内 容
4月9日(水) 【北村】	終学活	基本行動の確認	・火災、地震、津波、台風時の避難経路の確認
5月15日(木) 【北村】	終学活	地震の一時避難 校庭避難	・一時的な安全確保の方法と校庭への避難の仕方を身につける。
6月20日(金) 第1回定期考査 【野口】	定期考査終了後	地震訓練 二次避難 地域班確認	・震度5弱以下の関東直下型地震 ・机の下にもぐる ・校庭に避難し、地域班に並べかえる ・地域班名簿の作成と伝達
7月4日(金) 【竹腰】	6校時 (総合)	不審者対応	・教室内に机といすでバリケードを作る
9月1日(月) 始業式 【野口】	終学活	地震訓練 二次避難 地域班下校	・震度5弱以下の関東直下型地震 ・机の下にもぐる ・校庭に避難し、地域班での下校
10月9日(木) 【北村】	終学活	洪水、津波 垂直避難	・洪水警報発令による垂直避難 ・3階に全員避難
11月14日(金) 第3回定期考査 【竹腰】	定期考査終了後	地震 台風訓練 二次避難	・東京直下型地震・大雨(台風)時 ・机の下にもぐる ・体育館に避難
12月19日(金) 【北村】	半日程度	総合防災訓練	
1月29日(木) 【野口】	昼休み	火災訓練 二次避難	・昼休みに美術室より出火 ・西階段使用不可 ・各自校庭避難、安全確認
2月27日(金) 第4回定期考査 【竹腰】	定期考査終了後	地震訓練 二次避難	・校庭液状化により避難不可のため、 けやき広場に避難
3月3日(火) 【北村】	6時間 目 終わり 15分	地震訓練 二次避難	・東京直下型地震 ・教科授業で担当の先生が校庭まで誘導 ・校庭に避難

防火担当責任者

101	せいに学級教室	特支学級主任	216	教育相談室	副校長
102	せいに学級職員室、個別指導室	特支学級主任 〃	217	印刷室	教務主任
			218	進路相談室	進路指導主任
103	美術室 〃 準備室	美術主任 〃	219	多目的室	3学年主任
			〃	教材室	社会科主任
104	保健室	養護教諭	220	職員更衣室	副校長
105	図書室	図書主任	221	和室	副校長
106	音楽室 〃 準備室	音楽主任 〃	222	更衣室	体育主任
			223	更衣室	体育主任
107	木工室 〃 準備室	技術主任 〃	224	管理室	体育主任
				2階トイレ	清掃担当
108	金工室・準備室	技術主任	体育館	体育館2階	体育主任
109	パソコン室	技術主任	301	区文化財係	担当係長
	主事室	用務主事	302	区文化財係	〃
110	教材室	用務主事	303	区文化財係	〃
111	焼成室	美術主任	304	区文化財係	〃
112	備蓄物資倉庫	副校長	317	区文化財係	〃
113	体育用品等倉庫	体育主任	305	数学科室	数学科主任
剣道場 柔道場	体育館1階 (サアリーナ)	体育主任	306	1年C組教室	学級担任
給食室	給食室	栄養士 (委託業者主任)	307	1年B組教室	学級担任
	1階トイレ	清掃担当	308	1年A組教室	学級担任
201	区文化財係	担当係長	309	2年C組教室	学級担任
202	区文化財係	〃	310	2年B組教室	学級担任
203	区文化財係	〃	311	2年A組教室	学級担任
204	区文化財係	〃	312	更衣室	体育主任
226	区文化財係	〃	313	レインボーホール	副校長
205	生徒会室	生徒会担当	314	第1理科室 〃 準備室	理科主任 〃
205	更衣室	生徒会担当	315	第2理科室	理科主任
206	英語科教室	英語科主任	316	PTA室	副校長
207	3年B組教室	学級担任		3階トイレ	清掃担当
208	3年A組教室	学級担任	体育館	体育館3階	体育主任
209	会議室	教務主任	〃	〃 倉庫	体育主任
210	放送室	放送担当	〃	〃 放送室	放送担当
211	職員室	副校長	プール	4階プール	体育主任
212	校長室	副校長	〃	4階更衣室	体育主任
213	事務室	事務主任	〃	4階シャワー室	体育主任
214	調理室・準備室	家庭主任	〃	4階トイレ	体育主任
215	被服室・準備	家庭主任	〃	4階機械室	体育主任

入学式当日、大地震が発生した場合の緊急避難・ 対応について（案）

- 1 目的 式に参列した人々全員の人命確保
- 2 想定 卒業式開式後、避難が必要なほどの地震が発生した場合
- 3 人員 式当日考えられる最大人員数
- | | | | |
|-------|---------|---|------|
| ① 生徒 | 1年生 名 | | |
| | 2年生 91名 | | |
| | 3年生 62名 | 計 | 2名 |
| ② 来賓 | | | 20名 |
| ③ 保護者 | | | 120名 |
| ④ 教職員 | | | 33名 |

約名

4 指揮系統

学校長 → 生活指導主任 → 各教職員

5 避難経路確保のための誘導係について

実際に避難をしなければならない状況になった時を想定し、次の箇所に誘導係を配置する。また、その誘導係は、それぞれ次の箇所の避難口を確保するものとする。

- ① 体育館出入口..... 2名 → 体育館の出入口
- ② 体育館1F けやき広場側の出入口..... 2名 → けやき広場への出口
- ③ 主事室..... 2名 → 正面玄関側のドアおよび校庭側のドア
- ④ 2F西階段..... 2名 → 2F西階段

6 具体的な避難の方法について

(1) 1次避難から2次避難への流れ

- ① 揺れは大きい、体育館内の破損が見られないとき。
その場でなるべく姿勢を低くし、座っているイスで頭を保護する。
そのまま体育館内で待機する。
- ② 揺れが激しく、体育館内の物品が落下する可能性が考えられるとき。
その場でなるべく姿勢を低くし、座っているイスで頭を保護する。急を要すると判断された場合には、たとえ揺れが収まっていなくても指示に従って避難を開始する。

- ◆避難する際には、必ず頭にイスをのせ、その保護に努めさせる。
- ◆原則2列縦隊で移動する。

(2) 避難経路について

- ① (Bグループ) 体育館の出入口を出てすぐ左手にある階段を通過して【けやき広場】に避難する経路
- ② (Aグループ) 体育館の出入口を出て、校庭側の廊下を通行し、校舎内の西階段を降りて玄関から【校庭】に避難する経路
- ③ (Cグループ) 体育館の出入口を出て、けやき広場側の廊下を通行し校舎内の西階段を降りて玄関から【校庭】に避難する経路

(3) 最終避難場所：「校庭の陸上競技場側(通常の避難訓練で集合している場所)」

原則として、式に参列した全員が一箇所に集まる。これは、人員確保を確実に行うためである(分散してしまうと人員の確認が困難になってしまう)。

(4) 避難する際のグループ分け

別紙参照

7 教職員の係分担

役 割	担 当
総責任者、最終判断者、最終指示者	学校長
全体指揮および全体への指示	生活指導主任
体育館内最終確認	生活指導主任
避難経路の確保およびそのための誘導係	① 体育館出入口 ② 体育館1F けやき広場側の出入口 ③ 主事室 ④ 2F 西階段
避難誘導	Aグループ Bグループ Cグループ
避難後の人員確認 ※各クラスの名表を準備 ※整列は出席番号順とし、担任自ら人員確認を行う。 ※来賓、保護者は受付名簿を見て行う。	1 A：担任 1 B：担任 1 C：担任 2 A：担任 2 B：担任 2 C：担任 3 A：担任 3 B：担任 来 賓：事務・用務主事 保護者：せいこ学級教師
避難後の人員確認の集約	副校長
救護 ※救急セット準備、けが人の応急処置	養護教諭

令和 年 月 日

保護者様

江戸川区立清新第二中学校

校長 白石亨

災害時引渡しカード提出のお願い

保護者の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。本校の教育活動にご理解ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、本校では、大災害に備え防災・減災への取り組みを進めており、大震災については、先の東日本大震災を踏まえて対応マニュアルの見直しを行っております。本校では『「震度5強」以上、または、公共交通機関がマヒした場合は、生徒を学校内に留め置き、保護者または事前に登録した代理の方のみに引き渡す』こととなっております。そこで、平常時より『災害時引渡しカード』を作成しておくことが必要となります。

つきましては、裏面の記入例に従い、別紙の『災害時引渡しカード』に必要事項をご記入の上、4月 日()までにご提出ください。災害時の引取り者につきましては、必ず、お子様と確認の上、ご記入ください。記入された個人情報につきましては、有事の際のみに使用いたします。

有事の際には、緊急連絡メールや学校ホームページにて引取りのお願いをいたします。保護者の方等の引取りがあるまで、教職員が生徒の安全を確保しつつ待機しております。ご協力よろしく願いいたします。

なお、ご不明な点がございましたら、副校長までお問い合わせください。

災害時引渡しカード

江戸川区立清新第二中学校

- ・大災害が発生し、公共交通機関がマヒした時は、学校に生徒を留め置きます。その場合、保護者または事前に登録した代理の方の引取りをお待ちします。
- ・このカードは、有事に備え、学校内の耐火金庫に保管します。
- ・避難状況は、可能な限り、学校ホームページや緊急連絡メールにてお知らせいたします。電話等でのお問い合わせはご遠慮ください。

生徒基礎情報				
1年組番	生徒名	ふりがな	保護者名	ふりがな
2年組番				
3年組番				
現住所	〒			
緊急連絡先	自宅（ ）	自宅以外	名称（ ）	
	携帯（ ）	の連絡先	電話（ ）	
	携帯メールアドレス			
本校在学の 兄弟姉妹	年組		年組	
	年組		年組	
	年組		年組	
災害時引取り者				
(学校に迎えに来る人。保護者または代理の方)				
	引取り者氏名	本人との 関係	電 話	徒歩により学校までに 要する時間
1				
2				
3				
災害時引渡し確認票				
	引取り者氏名		連絡先	
	移動先		連絡先	
備考				

災害時の緊急対処用具一覧

○本校管理（本校準備用品）

管理場所（職員室入口の大型衣装ケース・ハンマーのみ外倉庫）

携帯用拡声器(ハンドマイク)【2】 軍手【20】 ホイッスル【5】 懐中電灯【5】
 ガムテープ【1】 セロテープ【1】 罫紙【1】 ボールペン【黒赤各6】
 油性ペン【黒赤太細各2】 電池【単ⅠⅡⅢ各12、単Ⅳ1L】
 大ハンマー【2】 ヘルメット【10】 ヘッドランプ【3】

○防災課より配布（区が優先して使用する可能性が大）

保管場所（東階段倉庫）		保管場所（体育館災害倉庫）	
レスキューシート	600	毛布	400枚
ガソリン1L	4	ブルーシート	50枚
オイル1L	1	災害救助用機ラッカー	2100食
マンホールトイレ	6	サバイバルフーズ	900食
平バール	1	カーペット	30枚
ボルトカッター	1	粉ミルク（300g）	96缶
折り込みのこぎり	1	ミネラルウォーター500ml	432本
大ハンマー	1	哺乳瓶	60本
カケヤ	1	カセットコンロ	1
ツルハシ	1	カセットガスボンベ	9
ショベル	1	スズラン灯8連	2
トラロープ	1	発電機	1
牛革手袋	2	洋式簡易トイレ(強化段ボール型)	2
ゴーグル	2	投光器	3
防塵マスク	2	タグボックス1ケース 避難所開設・運営マニュアル、避難所レイアウト図等が入っています。	
レスキューホイッスル	2		
三角巾	1		
ガーゼ	2		
包帯	18		

非常用特設公衆電話 5台（NTT管理）

保管場所（主事室）

災害時に本校職員又は、避難所開設員が設置
 避難民優先